全てのコミュニケ

欠かせない手話 シ ョ ンに

た。」と朗らかに語る猿渡さん。 と感じることはありませんでし に困ることは多かったそう。 それでも、 以前勤めていた会社では、 聞こえないことを苦しい 生まれた頃からの コミュニケーショ

多かった」。その後、猿渡さん 情報が受け取れなかったことも を伝えてくれましたが、必要な は同僚が友だちになってくれた いかと怒られたことは何度もあ ました。周囲が身振りで内容 3-4184 一手 印話 天落 訪

交流と楽しみ

まりしつこく聞けないので、 できないこともしばしば。

「あ

は本当に必要。」と猿渡さんは話

をするようになりました」。 るよう言葉の意味を考えて落語

落語の影響で、手話をきれ

します。

司から口だけで話をされ、理解

ます。 き、

と言ってくれるので、より伝わ

(笑)。周りが面白い、分かるよ

黙もあったり反応は

『分かった分かった』と半分空返

結局、分かってないじゃな

て開催されるイベントで手話落ん。3月3日の耳の日に合わせ 同で、 で過ごす時間は楽しいと猿渡さ は手話サークル宇城わかぎと合 県ろう者福祉協会県中央支部 毎週交流会を開催。

tahtly かずのり **猿渡 一徳** さん



他にも、1人で病院に行った話を広めていったといいます。 は手話通訳者の派遣制度がで なかったことも多いそう。今で ときには、先生の説明が分から ことをきっかけに、少しずつ手 9。「生活する上で手話通訳通院時は通訳を依頼してい 熊本県ろう者福祉協会県中央支部

手話をしない人もいます。意思「中途で失聴した人の中には

気を付けているという猿渡さん。 に表し、身振り手振り、表情にも

仲間

と展望を抱いています。

さまざまな人に伝えられたら。」

みせる《ことに意味があると、 を伝える手段として 〃手話で



会長 **田中 みさ代** さん

熊本県手話サークルわかぎ 宇城グループ 宇城わかぎ

2

平成2年に松橋わかぎと宇城わかぎ が合併して誕生。宇城市、宇土市、上 益城郡、下益城郡からメンバーが集 い、毎週木曜には県ろう者福祉協会 県中央支部と交流会を行う。同協会 と連携し、手話通訳も派遣している。 市役所通訳 月曜 13時~17時 (本庁のみ) 木曜 15時~19時 ※祝日の場合は翌日に振り替え

場を尊重し合い、まずろうの人ら偉いわけではなく、互いの立 目標です。 れる場所を作るのがサークルのします。ろう者が安心して集ま たちは活動はできません。」と話 たちに信頼してもらえないと私 うことから。手話をしているか 「コミュニケー ショ

手を理解し、

相手に認めてもら

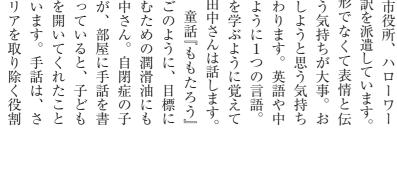
代表の田中さんは「手話は、相 県手話サークルの支部の1つ。 手話という1つの言語

宇城わかぎは、

県内に11ある

ろいろ。 らえる社会になれたら。」と田中 なくても、 にはジェスチャ お店や街中で通訳が 皆さんを理解しても クルでは、 - や筆談などいションの手段 各地で行 13

を持つ母親が、部屋に手話を書 として、効果を発揮しています。 まざまなバリアを取り除く役割 もあるといいます。 が手話で心を開いてくれたこと なる。」と田中さん。 向かって歩むための潤滑油にも のきびだんごのように、目標に ほしい。」と田中さんは話します。 新たな言語を学ぶように覚えて 国語と同じように1つの言語。 互いに理解しようと思う気持ち えようという気持ちが大事。お いた紙を貼っていると、子ども があれば伝わります。 クに手話通訳を派遣しています。 「手話は、童話『ももたろう』 「手話は形でなくて表情と伝 ント 啓発活動をはじめ、 や 手話は、 ハロー 地域の





お疲れさま

右手でこぶしを 作り、左手の手 首をトントンと 2回たたく



ありがとう

左手の甲を上に向け、右手の手刀で 左手の甲を1回ポ ンっと叩く



どうしたの? 何?

人差し指を立て て指を左右に軽 く振る



猿渡さんはそれを手話で表しま

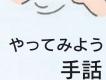
普通の落語は扇子と口だけ。

す。「お客さんは笑ったり、

いろいろ沈

うれしい

両手を開いて胸 の正面で交互さ



熊本県ろう者福祉 協会県中央支部の 皆さんが手話を紹 介します